

街路樹

学力向上に向けて ⑬

～ 研修内容を活かす ② ～

1 1・2月の研修について

1, 2月には国語、算数・数学、特別支援、小学校理科の授業力向上講座があります。まだ、座席に若干の余裕がありますので、追加申込をお受けいたします。また、教育実践研究発表大会では、9月未まで文部科学省教科調査官であった井上一郎京都女子大学教授を迎えて『教育課程全体で取り組む言語活動の充実』と題しての講演があります。これは、永田繁雄教科調査官(道徳教育実践講座①)→市川伸一東京大学教授(授業改善講座)→天笠茂千葉大学教授(校長研修)と、学習指導要領改訂に携わった方々による講義の締めくくりとして、設定しました。

2 講座内容の応用

当センターで実施した内容を授業改善に応用する例を1つご紹介します。(福島県教育研究発表会でも発表がありました)

経験者研修Ⅲとマネジメント研修講座では、SWOT分析の講義・演習を行いました。SWOT分析を学校づくりの面からの活用だけでなく、日頃の授業の振り返りに役立てることも可能になり、課題解決につながります。

【手順】

- (1) 教師、子ども側から「強み」(プラスの要素)、「弱み」(マイナスの要素)から振り返り、付箋に記入します。
- (2) 4つのエリアに付箋を貼り、グループ化します。
- (3) できあがったシートで振り返り、自分の課題を確認します。
- (4) 自己課題解決のための具体的な方策を検討します。

	教師自身にかかわること	子どもにかかわること
強み	<p>机間指導をまめに行っている。</p> <p>小見出し</p>	<p>漢字・計算などの基礎的な学力が身についている。</p> <p>小見出し</p>
弱み	<p>個に目が行き届かない。</p> <p>個に応じた指導</p>	<p>発問がわかりにくい。</p> <p>発問の工夫</p> <p>集中的に持続しない。</p> <p>小見出し</p> <p>活用力に課題がある。</p> <p>小見出し</p>

……研修の感想紹介……

新任教務主任研修③

- 平成21年度の教育課程の編成について、留意点や手順等の話から、今後やるべき点がみえてきた。(小・K)
- 21年度は、移行期間ということで、しっかり編成したい。(小・Y)
- 分析することは大切だと知りながら、どのようにしたら効果的であるか悩んでいた私にとって、このSWOT分析による手法は、たいへん興味深く聞くことができた。(中・A)
- 特色ある学校づくりということで、自校の外部・内部要因の+面と一面を見つめ直し、具体策を考えられた。(小・K)

授業改善・指導技術 ⑨

～ 発問の仕方の工夫…その1 ～

1 発問計画の立案…主たる発問

- ① 導入時
 - 学習内容に関する興味・関心を喚起させるような発問
 - 学習のねらいや課題が明確に理解できるような発問
- ② 展開時
 - 発問構成を工夫する。(主たる発問、それを導く発問)
 - 予想される子どもの反応に対する発問
- ③ 終末時
 - 学習のまとめを意識した発問
 - 評価を意識した発問(自己評価を促し変容やよさを)

2 話すときの速さや量

- ① 話すときの速さ
 - 基本はゆっくり、はっきり(発達段階に即して)
 - 教師は演技者(ゆっくり話したりはやく話したり、ある言葉を強く言ったり弱く言ったり、だんだん強く話したり弱く話したり)
- ② 話すときの量
 - 子どもが理解できる範囲の最小限にするように努める。
 - フレーズに一つの知識・情報、内容を盛り込むことが基本なので、盛り込む内容を吟味する。

3 指示と助言の工夫(発問に含まれる)

- ① 指示
 - 学習の対象を明確にする。「教科書の○ページを～」
 - 新たな学習活動を促す。「次は○の問題を解きます。」
 - 学習の手順を説明する。「はじめに～、次に～……。」
 - ※ 全員が理解しなければならないので、わかりやすく。
- ② 助言
 - 学習の仕方やヒントになるもの。「○○を読んでごらん。」
 - 間違いやつまずきに気付かせる。
 - 学習への意欲付けや変容に関するもの。
「○○に気付いたのはとてもよいことです。」
 - ※ 一人一人の個人差に応じた言葉かけが必要。そのため、日頃から子ども一人一人の特性や学習状況を把握するよう心がけることが大切。

学級経営のヒント ⑨

～ 学習習慣の形成 ～ 家庭に協力を求めながら

- 1 学習習慣の重要性について理解を求める。
 - 学校での学習習慣の基本を知らせる。
迷惑をかけない行動、教師の話や聞き、忘れ物をしない、進んで発言することなどが、効率よく学習に取り組めること。
 - 家庭での学習習慣の基本を知らせる。
基本的な学習習慣は、毎日、机に向かい復習や明日の準備を行うなどの、日々の家庭学習の習慣によって身に付くこと。
- 2 学習習慣を確立するためには、教師も工夫する。
 - 学習意欲を高める工夫を重ね、「予習・復習の習慣化を図っています」などを保護者に伝え連携していく。
 - 継続することの大切さを呼びかける。